

関西あづま会記念大会の報告

第10回関西あづま会記念大会を去る2月4日、大阪商工会議所6階のニューコクサイで開催いたしました。約170人の会員の皆さま、川添健長島町長ほか16人のご来賓の皆さまをお迎えし、盛大かつ賑々しく開催することができました。これもひとえに会員ならびに関係各方面の皆さま方の絶大なご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

旧東町と旧長島町の合併後初となる交流会では、会長あいさつに続き、川添健町長よりごあいさつをいただき、その中で合併後の町政の近況、将来への展望と詳細を力強くお伺いすることができました。活気溢れる町、明るい町に思いを寄せ、参加者一同安堵されたことと存じます。

続いて、各界のご来賓の皆さまより熱いご祝辞をいただき、濱上實則町議会議長の乾杯のご発声で懇親会が始まり「さよならあづま町」の映写会や大抽選会、カラオケ大会に踊りにと大阪にいることを忘れ、田舎弁丸出しで心ゆくまで親睦を深めることのできた交流会でした。

今後は関西あづま会、長島会の合併問題が発生するものと考えられますが、前向きな気持ちで取り組み、話し合いたいと思います。

この度の交流会につきましては、長島町役場様、東町漁業協同組合様、鹿児島いずみ農業協同組合東事業所様ほか多数の皆さまからのご芳志を頂戴し、厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

関西あづま会 会長 川畑清勝



本町からの参加者と関西あづま会役員

▽小学生時代のある土曜日、私は福ノ浦の停留所でバスを待っていました。当時は午前中が授業だったため、学校から帰宅後、鷹巣の町営プールに出かけるところでした。それぞれ平尾登、田尻方面行きと諸浦方面行きのバスが並んで通り掛かりました。前のバスの運転手さんは「後ろに乗って」と口ずさんで行ってしまいました。後ろのバスの運転手さんは「ごめんね」というような表情で通り過ぎて行ってしまいました。私は泣きながら自宅へ帰ったのを覚えています。▽私、は長島高校の卒業生です。同校はバスかバイクで通学する人がほとんどで、私はバイクで通っていました。数百台とめられる駐輪場はいつもバイクが溢れていました。高校生になつて私がバスに乗せてもらえなかった理由に気付きました。大きな体の高校生たちが都会の通勤電車のようにビッシリ乗ったバス。運転手さんは小さかった私を満員のバスに乗せるのは危険だと判断したのでしょう。▽高校生の通学時間帯は大型バスがいつも超満員で、町内をバイクで走り回る高校生も多く見られました。そんな時代が懐かしいです。▽近年、過疎化や少子化などに伴い、生徒の数も減り続け、とうとう長島高校の閉校という時を迎えてしまいました。これから高校へ進む生徒たちは、町外の学校へ入学することになります。自宅から通学する人もいるでしょうが、町外の寮や下宿から通う人も増えるでしょう。次代を担う若者たちが、町から離れていくのは悲しいことです。(濱口)

NHKラジオ真打ち競演の公開録音

町とNHK鹿児島放送局では、長島町合併記念1周年を記念して、「真打ち競演」の公開録音を実施します。「真打ち競演」は、漫才・漫談・落語などの話芸を豪華な顔ぶれでお楽しみいただく、NHKラジオ第1放送の演芸番組です。入場は無料です。観覧を希望される方は、次の要領でお申し込みください。

名称 長島町合併1周年記念「真打ち競演」公開録音
主催 長島町 NHK鹿児島放送局
日時 平成19年4月27日(金)
開場 午後5時30分
開演 午後6時15分
終演予定 午後8時15分
会場 長島町文化ホール
出演 [1本目] 春風こうた・ふくた、牧 伸二 桂 平治
[2本目] 昭和のいる・こいる、太田家元九郎、三笑亭夢之助
司会 吉田真人アナウンサー (NHK鹿児島放送局)
応募方法 郵便往復ハガキ(私製を除く)の「往信用裏面」に、郵便番号・住所・氏名・電話番号、「返信用表面」に、郵便番号・住所・氏名を明記して下記あて先までお申し込みください。

※応募多数の場合は、抽選のうえ入場整理券(1枚で2人入場可)を交付します。
※1歳以上のお子様も入場整理券が必要です。

あて先 〒892-8603 (住所不要)
NHK鹿児島放送局「真打ち競演」係
締め切り 平成19年4月6日(金) 必着
放送予定 平成19年6月5日(火)・12日(火)
午後9時5分~午後9時55分

問い合わせ先
NHK鹿児島放送局・事業Tel 099-805-7114
[土・日・祝日除く午前10時~午後6時]

ご応募の際にいただいた情報は、抽選結果の案内のほか、受信料のお願いに使用させていただくことがあります。

■編集後記

▽小学生時代のある土曜日、私は福ノ浦の停留所でバスを待っていました。当時は午前中が授業だったため、学校から帰宅後、鷹巣の町営プールに出かけるところでした。それぞれ平尾登、田尻方面行きと諸浦方面行きのバスが並んで通り掛かりました。前のバスの運転手さんは「後ろに乗って」と口ずさんで行ってしまいました。後ろのバスの運転手さんは「ごめんね」というような表情で通り過ぎて行ってしまいました。私は泣きながら自宅へ帰ったのを覚えています。▽私、は長島高校の卒業生です。同校はバスかバイクで通学する人がほとんどで、私はバイクで通っていました。数百台とめられる駐輪場はいつもバイクが溢れていました。高校生になつて私がバスに乗せてもらえなかった理由に気付きました。大きな体の高校生たちが都会の通勤電車のようにビッシリ乗ったバス。運転手さんは小さかった私を満員のバスに乗せるのは危険だと判断したのでしょう。▽高校生の通学時間帯は大型バスがいつも超満員で、町内をバイクで走り回る高校生も多く見られました。そんな時代が懐かしいです。▽近年、過疎化や少子化などに伴い、生徒の数も減り続け、とうとう長島高校の閉校という時を迎えてしまいました。これから高校へ進む生徒たちは、町外の学校へ入学することになります。自宅から通学する人もいるでしょうが、町外の寮や下宿から通う人も増えるでしょう。次代を担う若者たちが、町から離れていくのは悲しいことです。(濱口)